

小学校第六学年 国語 「一年生に説明しよう」

○ 正答例

一

2

二
 どうきんで、床をふきます。床がぴかぴかになります。 など

三
 みんなでそうじをすると、学校がぴかぴかになります。 みんなで力を合わせて、きれいな赤松小学校にしましょう。（五十二字）

○ この問題で身につけてほしい力

○相手に内容が伝わるように説明する力

○ 考え方

一
 何かを説明するときに、いくつか大切なことがあります。問題では、主に次の二点を取り上げています。

- ①説明する相手を意識する。
- ②資料等を利用する。

選択する番号ごとに説明していきます。

1は、説明する相手の一年生に伝えるために、分かりやすい文にするための工夫です。つまり、①です。

3も、①です。説明をただ聞くだけでは一年生があきてしまします。そこで、活動を取り入れて、集中できるように工夫しているのです。

4は、②です。口で説明されただけでは、内容を忘れてしまいます。メモをとるのも一年生には大変です。そこで、**「そうじのしかた」ポスター**を使い、見て思い出すことができるように工夫しています。

2も、効果的な工夫です。しかし、**【松島さんの原稿】**では、2の工

夫ではなく**3**の工夫を取り入れています。松島さんは、活動を取り入れた方が、この場合は効果的だと考えたのです。

二
 松島さんは、一文を短く、簡単な言葉を選ぶことで、一年生にも分かりやすい文章にしています。また、「何をする」ということに加え、そのことで「どうなる」という結果も書いています。

ごみをはきます。はいたところがきれいになりますね。

ごみをはくと、はいたところがきれいになりますね。

松島さんは、前者のように、二文に分けて書いています。このように分けると、後者よりも話を理解しやすくなるが多くなります。

三
 メッセージを伝えるときにも、相手のことを意識します。その上で、どのように伝えるのが効果的か考える必要があります。

内容としては、**「そうじのしかた」ポスター**にあるメッセージを元にして考えます。メッセージの内容につけ足しをすることで、内容がより伝わりやすくなることも大切です。ここでは、そうじをすることのよさを盛りこんでいます

これらのことを、相手を意識した書き方でまとめます。

○そうじをすることのよさ（つけ足し）
 みんなでそうじをすると、学校がぴかぴかになります。 みんなでメッセージ
 力を合わせて、きれいな赤松小学校にしましょう。（五十二字）